

こんにちは

留学生活も半年が過ぎ、残すところ四か月となりました。

さて、私はこちらでドラマクラブに所属しています。二月に演劇の大会がありましたのでその様子をお伝えしたいと思います。この大会は45分の演劇をミシガン州の高校が集まって行い、競うものでした。私の高校は「Mother Hicks」という世界恐慌時のアメリカを描いた劇をしました。この劇の舞台製作に携わって驚いたことは、生徒の主体性です。舞台のデザインと設計、ライトのデザインと組み立て、衣装、メイクアップ、演出、何から何まで先生の助言もありながら生徒が全て考え、実行していました。しかも、その出来はプロさながらで、とても高校生が作ったようには見えないほどです。私は舞台の設計を手伝いましたが、木で舞台を組み立てるにあたって、ドリルやノコギリ、ペンキ、そして多くの木材、と学校に設備が物凄く整っています。さらに、メイクアップ室があったり講堂にはライトの機械が設備されていたりします。劇は細部までこだわっており、役者はその当時の方言をマスターし、世界恐慌時の貧しさを表現するため役者だけでなくスタッフも顔に泥に模した黒いファンデーションを塗りました。では、ここで大会の話をしたいと思います。大会は二日間にわたって行われました。各校、映像を駆使した舞台であったり、ミュージカルをしたり、手の込んだ劇ばかり。見るのがすごく面白かったです。また、この大会を通して興味深かったことは、会場をすれ違うときに「劇すごく面白かったよ」「演技上手だね」など全く知らない高校同士が励ましあっていたことです。このようなポジティブで積極的な人との関わり合いがとても素敵に感じました。ちなみに、この大会で私の学校は1位を取ることができました。このチームにいられた事を誇りに思いましたし、貴重な体験になりました。

白鷗高校12期生 次世代リーダー7期生 A・K

